



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月13日

上場会社名 株式会社エクストリーム 上場取引所 東
 コード番号 6033 URL http://www.e-extreme.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 佐藤 昌平
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 由佐 秀一郎 (TEL) 03-6673-8535
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	2,446	0.8	227	△34.0	227	△33.9	137	△36.8
29年3月期第3四半期	2,427	—	344	—	345	—	218	—

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 147百万円(△33.9%) 29年3月期第3四半期 222百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	54.59	53.05
29年3月期第3四半期	88.87	84.48

(注) 1. 平成29年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成29年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

2. 平成28年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首より株式分割が行われたものと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
30年3月期第3四半期	1,897	—	1,227	—	64.7
29年3月期	2,062	—	1,136	—	55.1

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 1,227百万円 29年3月期 1,136百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	23.00	23.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成28年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成30年3月期(予想)の1株当たり配当額につきましては、株式分割を考慮した額を記載しております。なお、平成29年5月12日に公表いたしました1株当たりの予想期末配当金及び通期配当総額の実質的な変更はありません。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,269	△0.6	262	△39.9	263	△39.2	157	△43.6	62.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成30年2月13日)公表いたしました「通期業績予想(連結)の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご参照下さい。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年3月期3Q	2,529,000株	29年3月期	2,523,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	142株	29年3月期	90株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期3Q	2,527,654株	29年3月期3Q	2,456,859株

(注) 当社は、平成28年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨ではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景に緩やかな回復基調が見受けられるものの、個人消費の回復は足踏み状況にあり、先行き不透明な状況となっております。

このような環境下、当社グループを取り巻くソフトウェア業界におきましては、スマートフォンの普及が安定的に推移し、引き続き拡大傾向が続いております。また、スマートフォンにおけるゲーム市場は、平成29年度には9,600億円(出所:株式会社矢野経済研究所「スマホゲームの市場動向と将来性分析 2017」)に達すると予想されており、今後同環境は大きく成長していくことが予想されます。

このような状況下、当社グループはゲームなどのエンターテインメント系企業及び金融・商業・サービス業などの企業へ向けた人材ソリューション・受託開発を行うソリューション事業及び、ゲームコンテンツの企画・開発・運営及びライセンスビジネスを行うコンテンツプロパティ事業を引き続き積極的に展開し、取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,446,156千円(前年同四半期比0.8%増)、営業利益は227,477千円(前年同四半期比34.0%減)、経常利益は227,923千円(前年同四半期比33.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は137,989千円(前年同四半期比36.8%減)となりました。

次に事業別状況について説明いたします。

<ソリューション事業>

ソリューション事業は、人材ソリューションサービス及び受託開発サービスの2種で構成されます。このうち、人材ソリューションサービスは、主にスマートフォンアプリ、ゲームなどのエンターテインメント系企業や金融、商業、サービス業などの企業に対し、プログラミング・グラフィック開発スキルを持った当社社員(クリエイター&エンジニア)が直接顧客企業に常駐し、開発業務を行っております。受託開発サービスについては、当社社員が直接顧客企業に常駐し、開発業務を行う場合と案件を持ち帰り、開発～納品～保守・運用を行うケースに分別されます。

当第3四半期連結累計期間においては、スマートフォンを中心とした開発案件における旺盛な需要に支えられ、受注が安定的に推移し、人材ソリューションサービスにおける稼働プロジェクト数は3,239となりました。一方、子会社においては、大型の新規開発案件として受注を予定していたエンターテインメント向けサービスの開発案件をはじめ、大手SIerからの中規模システムの開発案件等の失注により、受注計画が下回る結果となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,399,530千円(前年同四半期比2.0%増)、セグメント利益は524,384千円(前年同四半期比18.2%減)となりました。

<コンテンツプロパティ事業>

コンテンツプロパティ事業は、ゲームサービス、ライセンスサービス、協業開発サービスの3種で構成されますが、当第3四半期累計期間においては、主にゲームサービス及びライセンスサービスに力を入れてまいりました。

ゲームサービスにおいては、既存タイトルである『つみにん〜うみにん大サーカス』(スマートフォンアプリ)、『フルーツ・フォレスト』『バトルドラゴン いにしへの財宝』『ミステリーハート 琥珀の心臓』(PCブラウザゲーム)を引き続き運営してまいりました。

ライセンスサービスについては、当社保有IPである『桃色大戦ばいろん』『うみにん』が人気コミュニケーションアプリ「コミコミ」にて配信されるなど話題作りに努めました。

の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は50,544千円(前年同四半期比33.0%減)、セグメント利益は23,417千円(前年同四半期はセグメント利益1,678千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産・負債・純資産の状況

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、投資有価証券の増加66,770千円があったものの、現金及び預金の減少139,065千円などにより、1,897,476千円となり、前連結会計年度末と比べ165,140千円の減少となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、短期借入金の減少50,000千円、未払法人税等の減少127,205千円などにより、670,426千円となり、前連結会計年度末と比べ256,023千円の減少となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、利益剰余金における配当金の支払に伴う減少58,026千円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う増加137,989千円などにより、1,227,049千円となり、前連結会計年度末と比べ90,882千円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想について

平成30年3月期の通期業績予想につきましては、当第3四半期累計期間の業績に鑑み、下方修正しております。詳細につきましては、平成30年2月13日に公表いたしました「通期業績予想(連結)の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	916,150	777,085
受取手形及び売掛金	435,059	409,267
有価証券	4,001	5,333
仕掛品	22,070	1,258
その他	63,929	66,637
貸倒引当金	△342	△372
流動資産合計	1,440,869	1,259,211
固定資産		
有形固定資産	65,438	56,927
無形固定資産		
ソフトウェア	3,980	2,721
のれん	202,049	164,164
無形固定資産合計	206,029	166,885
投資その他の資産		
投資有価証券	253,611	320,381
その他	96,668	94,069
投資その他の資産合計	350,279	414,451
固定資産合計	621,747	638,264
資産合計	2,062,616	1,897,476
負債の部		
流動負債		
短期借入金	50,000	—
1年内償還予定の社債	43,000	43,000
1年内返済予定の長期借入金	31,240	34,080
未払金	254,761	248,230
未払法人税等	165,864	38,658
賞与引当金	61,910	34,904
その他	90,333	103,028
流動負債合計	697,109	501,902
固定負債		
社債	144,500	105,000
長期借入金	84,840	59,280
その他	—	4,244
固定負債合計	229,340	168,524
負債合計	926,449	670,426
純資産の部		
株主資本		
資本金	307,211	308,111
資本剰余金	305,919	306,819
利益剰余金	528,576	608,538
自己株式	△173	△298
株主資本合計	1,141,533	1,223,171
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,366	3,878
その他の包括利益累計額合計	△5,366	3,878
非支配株主持分	—	—
純資産合計	1,136,166	1,227,049
負債純資産合計	2,062,616	1,897,476

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	2,427,909	2,446,156
売上原価	1,552,472	1,593,830
売上総利益	875,437	852,325
販売費及び一般管理費	530,803	624,848
営業利益	344,633	227,477
営業外収益		
受取利息	1,475	3,680
為替差益	3,715	—
その他	1,248	354
営業外収益合計	6,438	4,035
営業外費用		
支払利息	924	785
社債発行費	2,015	—
支払手数料	2,659	1,994
その他	424	809
営業外費用合計	6,024	3,589
経常利益	345,048	227,923
税金等調整前四半期純利益	345,048	227,923
法人税等	126,714	89,933
四半期純利益	218,334	137,989
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	218,334	137,989

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	218,334	137,989
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,436	9,245
その他の包括利益合計	4,436	9,245
四半期包括利益	222,770	147,234
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	222,770	147,234
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算方法)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(重要な後発事象)

連結子会社の吸収合併

当社は、平成30年2月13日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社ウィットネストを吸収合併することを決議し、同日付で合併契約を締結しております。

1. 取引の概要

(1) 被合併企業の名称及び事業の内容

被合併企業の名称 株式会社ウィットネスト

事業の内容 ソリューション事業

(2) 企業結合日

平成30年4月1日(予定)

(3) 企業結合の法的方式

当社を存続会社とし、株式会社ウィットネストを消滅会社とする吸収合併方式であります。

(4) その他取引の概要に関する事項

株式会社ウィットネストは、インフラ設計からサイト運用まで、ワンストップのソリューションを提供するS I事業及びA P Iエコノミー構築支援事業を主業務としておりますが、このたび、当社グループ経営の一層の効率化を図るため、本合併を行うこととしました。

2. 実施する会計処理の概要

本合併は、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日)に基づき、共通支配下の取引として処理を行う予定であります。